

く解決したため下落。

これに対しわが国相場は、亜鉛が過剰生産傾向から建値、市中価格とも軟化し、割高の中をわずかながら縮小したが、電気銅は海外安に追隨して下押ししたとはいえ、旺盛な内需に支えられて下げ中は少なく、国際相場に対する割高の中はかえつて拡大。その他鉛、錫、アルミは保合、比価関係にも格別の変化はみられなかつた。

(4) その他の商品 硫安、苛性ソーダ、レーヨンパルプなど化学製品は、引き続き内外価格とも大勢保合を示したが、ただ西独の硫安価格がオフ・

シーズンによる需要減から低落したため、硫安の対独比価は割高の中をやゝ拡大した。一方、大豆原油も欧州の冷害が当初予想より軽いと弱材料がひびき、ニューヨーク相場が続落したのに対し、わが国相場は本年度外貨割当予算わくが比較的窮屈であることから逆に上昇、比価関係は悪化した。

セメントは海外の保合に対し、わが国は生産好調のため軟化、生ゴムも海外に比較し上げ中が少く、いずれも比価関係はわずかながら好転したが、原皮は海外の保合に対してわが国は需要増加から微騰、割高中を更に拡大した。

日 誌 (昭和31年6月)

国	内	外
1日	○地方債及び事業債の元利金支払手数料引下げ実施	均手取価格 10,070 円)
3日	○金融制度調査会設置法成立 ○国際金融公社への加盟に伴う措置に関する法律成立	12日 ○日英通商航海条約の交渉開始
12日	○金融機関資金審議会、大蔵大臣に対し中小企業金融の疏通に関する意見を申入れ ○政府保証付社債を担保とする本行貸出の取扱決定 ○政府、昭和31年度新米価決定(玄米石当り農家平	15日 ○日独貿易取極受給 ○政府、国際金融公社協定に調印
		18日 ○政府、ビルマ向米綿委託加工に関する取極に調印
		22日 ○国際復興開発銀行より国際復興開発銀行通貨代用国庫債券買入実施
		26日 ○政府短期証券応募申込の受付時間を延長方実施
4日	○ザールの西独復帰に関する独仏間協定成立 ○マレー及びシンガポール政府、ゴムの対中共禁輸解除	20日 ○全米ブラウス製造業者協会、日本製ブラウス輸入制限申請を撤回 ○第一次国際砂糖会議終了
5日	○仏、モレ首相一般施政方針に関し信任獲得 ○ビルマ、ヌー首相辞任、スウェ新内閣成立	21日 ○中共・カンボジア経済援助(8億リエル)協定調印
6日	○インドネシア、ゴムの対中共禁輸解除 ○トルコ中央銀行、公定歩合を従来の4.5%から6.0%に引上	22日 ○西ドイツ、エアハルト経済相政府の景気抑制策を発表
7日	○第4回ガット関税交渉会議による新関税率発表 ○ルイジアナ州下院、日本綿製品排斥法案可決	24日 ○SEATO本部設置
8日	○アイゼンハワー大統領再び入院 ○朝鮮中立国休戦監視委員会中立地帯に撤退	25日 ○米、リネン製タオル類輸入税引下げ、7月25日より実施(10%から40%へ)
11日	○SEATO第3回軍事会議開催	26日 ○英国国防支出等76万ポンド削減を発表
13日	○タイ、米、木材等の対中共禁輸解除	27日 ○英連邦首相会議ロンドンで開催 ○仏、国民連帯基金制度国民議会通過
15日	○中共全国人民代表大会開催、本年度予算案発表	27日 ○パキスタン・ソ連通商協定調印(於カラチ)
16日	○フリードマンIMF為替制限局長一行来日 ○シェピーロフ・ソ連外相エジプト訪問	28日 ○フリードマンIMF為替制限局長一行離日
19日	○米関税委員会、別珍関税公聴会開催	29日 ○OEEC理事会EPU1ヵ年延長を決定
		30日 ○アイゼンハワー大統領退院